

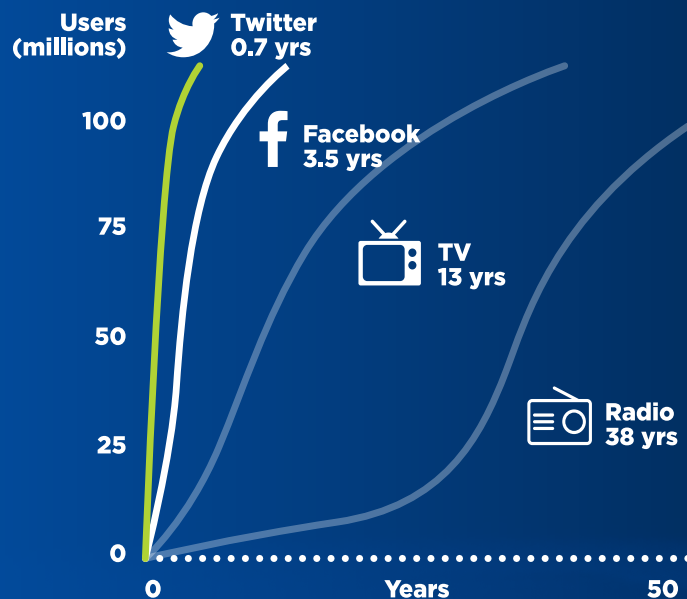
ターニング ポイント

ここからクラウドジャーニーが始まります

残された時間は 少なくなりつつあります

イノベーションのペースが速まる中、新たなビジネスモデルはかつてないほどのスピードで業界全体にディスラプションを引き起こしています。今日のデジタルエコノミーにおいて、ビジネスで成功するため—あるいは単に存続するだけ—の機会は長続きしません。最近のマクロ経済的变化によって、一部の事業は空前のペースでビジネストランスフォーメーションの進行を速めざるを得なくなりました。例えば、Microsoftの一部の顧客は、2年分の変革を2カ月に詰め込んでいます。

お客様にとって、今がビジネストランスフォーメーションを成し遂げる最後のチャンスかもしれません。しかし、こうしたプレッシャーを理由に、不安定な基盤を急いで構築するようなことがあってはいけません。



変化のスピード: ゼロから
5,000万人のユーザー



スマートな最初が肝心

ビジネストランスフォーメーションを早く進めたいがために、既存の機能の上に断片的なソリューションを築き上げてたいと考えるかもしれません。しかし、それぞれバラバラのオペレーションを変革させた場合、拡張が難しくなるため、変革が失速するのみならず、その全体的な取り組みも頓挫してしまう可能性があります。

ビジネストランスフォーメーションは、分離をさらに広げるのではなく、あらゆる機能を統合する形でお客様の技術的アプローチを再構成するところから始まります。アウトサイドインのアプローチで基盤を構築するのではなく、最初から柔軟な基盤を構築し、この基盤内で新たなオペレーションを成長させるインサイドアウトのアプローチを取りましょう。

- クラウドの選択肢のために設計された、技術基盤の上に構築する
- 社外で新たなリソースを探すのではなく、社内で人材の補強およびスキルアップをする
- 上に積み重ねていくのではなく、機能を統合してプロセスを自動化する



運用の 統合を 実現する

もはや、企業にはサイロ化した運用を行うだけの余裕がありません。また、統合システムを構築することでリソースへのオンデマンドかつ即時的なアクセスを実現し、データと意思決定者をつなげる必要があります。どのような**テクノロジー**を利用すれば、当社の**社員**向けにリソースの民主化を果たし、**プロセス**の自動化に役立て、より多くのイノベーションに取り掛かる人材を解放できるのか考えてみましょう。

開発者と意思決定者にとって、これは堂々巡りの交渉に割く無駄な時間の削減、そしてツールとリソースに対する即時的なアクセスを意味しています。IT部門にとって、これは自動化とシンプルな展開を意味しており、空いた時間でスキルアップと新たな事業価値の創造が可能となります。



3つの変革を1つに

人

ビジネストランスフォーメーションの根幹です。社外リソースを用いて、新しいタスクの割り当てと人材のギャップの埋め合わせを行うだけでは事足りません。既存のスキルセットを土台に、新たなテクノロジーを用いた特殊なプロジェクトに有意義な時間を割いてもらうことで、スキルアップを推進しましょう。外部の人材獲得のみに集中すると、ビジネストランスフォーメーションが停滞し、さらなる分断を引き起こすことになります。

プロセス

ビジネストランスフォーメーションには、現行プロセスに対する批判的評価が求められます。「スタッフの時間をより効果的に利用するには、どうしたらよいだろうか?」と自問してみましょう。AIと機械学習がスタッフの手動タスクを削減できる分野を特定し、エンドユーザー向けにセルフサービスを有効にしましょう。自動化を増やして手動作業を減らすことで人的エラーが減り、スタッフをより高価値な作業に再割り当てすることが可能になります。

テクノロジー

プラットフォームの刷新は、特にそれが社内の混乱を生み出して資本投資を無駄にするのであれば、必ずしも選択肢とはなりません。一度に全てを「丸ごと入れ替える」ことなく、既存の投資をベースに構築できるテクノロジープラットフォームが求められます。こうしたプラットフォームは、最終的に複数のクラウドに広げて、あらゆる環境間でシームレスな相互運用性を実現する際に役立ちます。



選択肢が生み出す 事業の柔軟性

社員がより分散され、コンピューティング需要がさらに変動する中、変化に対して迅速に適応できる柔軟性は極めて重大です。しかし、単一のクラウドサービスに依存しては、費用対効果が低いほか、重要なアプリとデータを管理するために必要な管理機能とセキュリティを提供できない場合があります。

お客様のITチームには、相互運用性に関する懸念を抱くことなく、アプリケーションとワークロードに対して最も適切なリソースを入念に選定する能力が必要です。さらに、広範に分散された運用にまたがるリソースの管理・展開を安全に行うため、シンプルなプラットフォームも必要となります。最終的に、このプラットフォームは、運用を広げてシームレスに拡張することで、プライベートクラウドおよび複数のパブリッククラウド環境間の完全な相互運用性を実現し、ハイブリッドマルチクラウド環境の構築に貢献します。

「当社の**既存ネットワークのバックボーンスイッチ**を放棄したり、新しいものを購入することなく、そのままNutanix環境を実装できたことに感動しました。Nutanixソリューション内で提供される**ユニファイドコミュニケーション**のおかげで、**レガシー機器を活用**しながら、環境内にスピードと高信頼性を提供できるようになったのです。」

— Ken Shaffer氏、CarMax エンタープライズシステムアシスタントVP



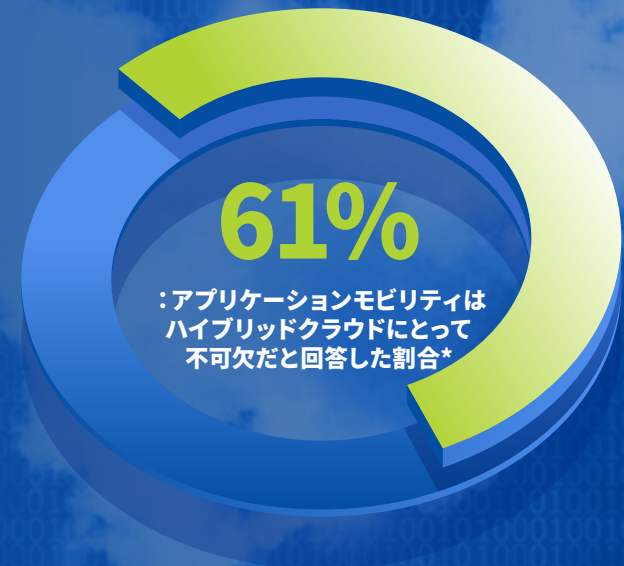
マルチクラウドを 1つに

お客様は、1つのパブリッククラウドを新しいワークロード向けに利用しつつ、別のクラウドにレガシーアプリケーションを移行させたいと考えているかもしれません。これと同時に、費用対効果およびセキュリティの面から、こうしたアプリケーションのデータをお客様のプライベートクラウドに留める必要がある可能性があります。そのために作られたプラットフォームにハイブリッドマルチクラウドを構築することで、始めから相互運用性を確保して、複数のクラウドを単一のクラウドとして操作できるようになります。

- リソースとデータがあらゆるロケーションのアプリケーションをまたいで確実にシームレスに共有されるようにする
- リファクタリングを伴わずに、環境間のアプリケーションを容易に移行
- 一貫性ある構成モデルとスキルセットを用いたプライベートおよびパブリッククラウドにまたがるネイティブ統合によって、固有のベンダー構成を解消する
- 自分のライセンスを使用する (BYOL - Bring-Your-Own-License) でベンダーロックインを回避
- 事業の柔軟性をさらに高めて、増加する分散型ワークフォースおよび予測不能な需要変動をサポートする

「Nutanixは、UIIにおけるデジタル化戦略の**中核的な基盤**を構成しています。その**自動修復機能**によって、**99%のアップタイムと可用性**を達成できると確信しています。現在のUIIのチームには、その活動の中心をインフラストラクチャー運用から大学にとって本質的な事業価値の創造に変えるだけの自由度があります。」

— Mukhammad Andri Setiawan博士、UII CIO



クラウドジャーニーを マッピングする

プライベートおよびパブリッククラウド環境間でアプリとワークロードの戦略的配置、移植性、そして管理を可能にする、専用インフラストラクチャープラットフォームからクラウドジャーニーを始めましょう。

フェーズ1

インフラストラクチャーの最新化

システムとリソースを
統合して簡素化

フェーズ2

ITプロセスの自動化

セルフサービスITの実現

フェーズ3

パブリッククラウドを 統合する

リソースと展開の選択肢
を広げる

フェーズ4

ハイブリッドマルチクラウド運用を統合

統合インフラストラクチャープラットフォームで
プライベートおよびパブリッククラウドを管理し、
シームレスな相互運用性とアプリケーションの
移植性を実現しましょう。



フェーズ1

インフラストラクチャー 最新化

データセンターを変革する上での最大の障害は、ストレージ、コンピューティング、そしてネットワークサービスを別々の要素に分離するサイロです。最新化するからといって、「丸ごと入れ替える」わけではありません。むしろ、既存のリソースをソフトウェア定義プラットフォームに再度組込んで統合し、マネジメントを統一することを意味します。

最新のデータセンターは、最大限の運用効率とコスト削減を実現するため、ハイパーコンバージドインフラストラクチャー (HCI) を標準としています。ITリーダーは、このアーキテクチャーを好みます。その理由は、お手頃な価格のコモディティハードウェアとローカルにアタッチされたストレージリソースを活用することで、効率的なプール化が可能となり、コスト最適化を実現できるためです。こうした柔軟なビルディングブロックによって、別途のサーバー、ハイパーバイザー、ネットワーク機器、そしてストレージアレイを購入する必要はなくなります。こうして組み合わせられた全てのコンポーネントは、ロケーションとアプリケーションを問わずに実行できる、インテリジェントなソフトウェアレイヤーによって駆動されています。

フェーズ1

インフラストラクチャーを統合する インフラストラクチャー

100%ソフトウェア定義インフラストラクチャー によって柔軟な基盤を構築する

- サイロを排除して、煩わしい保守を削減する
- 可用性を改善し、ダウンタイムを最小限に抑えて、停止からの復旧を速める
- 1-クリックの拡張によって、簡単に素早く経済的な拡張を実現する

シンプルで移植性を備え、クラウドレディ(完全対応)

- ベンダーロックインはなし
- 多様なハードウェア、ハイパーバイザー、そしてクラウドをサポートする完全な移植性を備えたソフトウェアプラットフォームによって、ビジネス上のニーズに合わせてカスタマイズ可能
- 複数環境にまたがる、標準化された構成および相互運用性



代表例

運用の簡素化が より質の高いケアを実現

イリノイ州の最大規模のカトリック系医療システムの1社であるPresence HealthのITチームは、150の施設の400万人を対象としたヘルスケアサービスに技術サポートを提供しています。無秩序な機器、そして従来型インフラストラクチャーを利用するベンダーを巡る状況は収拾がつかなくなっていたため、同社は最新のインフラストラクチャープラットフォームを標準化することにしました。

Nutanixの実装後、Presence Healthは新規リソースの調達に要する期間を1カ月半から僅か3日にまで短縮しました。Presence Healthは、今では異種のサーバー、ストレージ、そしてネットワーク装置の問題に取り組む必要がありません。IT部門は、新たな仕事にリソースを速やかに提供し、チームが最高品質のケアを維持できるようサポートできます。

[Presence Healthに関するケーススタディを読む](#)

「Nutanixの**シンプル**な設計によって、大規模な停止の可能性を減らすことができるようになりました。当社は、EMRが常に稼働しており、患者が**最高品質**のケアを得られるように万全の体制を用意できます。」

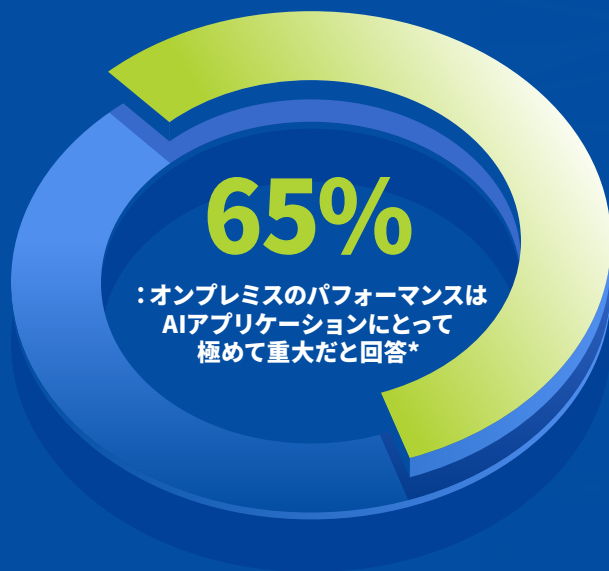
— Jeremy Bernstein氏、Presence Health暫定CTO



フェーズ2

運用とデリバリーを 自動化

クラウドサービスを自社内に持ち込むことで、パブリッククラウドの拡張性と使い勝手の良さと共に、オンプレミス型インフラストラクチャーのさらなるセキュリティ、管理機能、そしてパフォーマンスを手に入れることができます。インテリジェントかつ多様性のあるクラウドレディなインフラストラクチャーで管理を自動化し、セルフサービスを実現することで、ユーザーがITリソースを速やかに取得できるようにしましょう。新たなテクノロジーリソースを手に入れるまでの間、長い遅延に悩まされるのではなく—例えば、サーバーには1週間、ストレージにはさらに1週間、ネットワーク機器には3日、仮想マシンおよびその他の便利なソフトウェアには3日という具合に — **プライベートクラウドであれば新たなリソースを直ちに簡単かつ費用対効果に優れた方法で活用できます。**

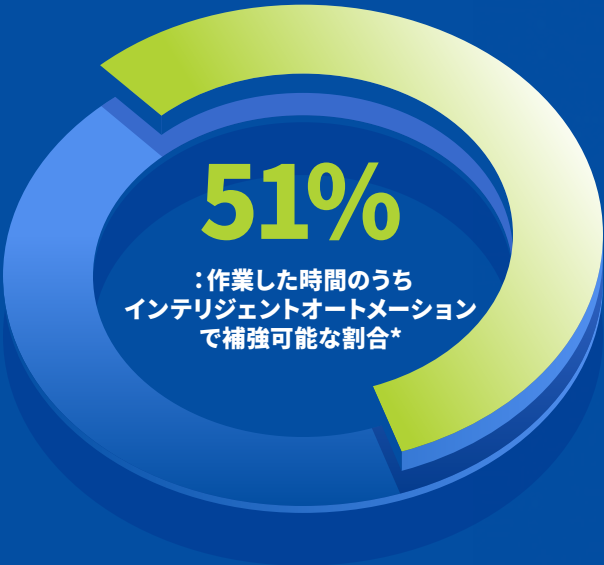


フェーズ2

ITを補強してスキルアップする

ビジネストランスフォーメーションを実現するには、集合的な組織体から文化および思考面での大がかりな変化を伴います。テクノロジープラットフォーム同様、ビジネストランスフォーメーションは社内の人材を「丸ごと入れ替える」のではなく、既存のスキルセットを強化して、新たな事業価値を推進できるように彼らを再配属することを意味します。

差し迫ったスキル不足は、既にITが将来的に抱える課題のトップ5に含まれており、適格な人材の調達ますます難しくなる一方です。ネイティブ統合されたAIと適応的な機械学習を備えたプラットフォームで手動タスクと日常保守を自動化して、既存スタッフの時間を解放しましょう。こうすることで、彼らがより戦略的な問題解決、コラボレーション、そして管理に集中できるようになります。



51%

：作業した時間のうち
インテリジェントオートメーション
で補強可能な割合*



30%

：クラウドスキルに対する
グローバルな需要のうち2022年
までに満たされない割合**

* Accentureによる調査 - It's Learning. Just Not As We Know It.

** Solarwindsレポート: IT Trends 2019: Skills for Tech Pros of Tomorrow

代表例

バイクメーカーが 目指す ハイブリッドクラウド



「ITにおける次なる大きなステップは、オンプレミスインフラストラクチャーからパブリッククラウドへとワークロードをシームレスに移行し、要件に変更があった場合は再び社内に戻すことになります。**Nutanixのソリューションには、こうした柔軟性がビルトインされています。**」

— Brian Oamek氏、Trek BikesシニアエンタープライズITアーキテクト

フェーズ3

パブリッククラウドを統合する

柔軟かつWebスケールなアーキテクチャーがデータセンターのシステムを支配し、プライベートクラウドを通じてITaaSを提供するようになった後は、パブリッククラウド統合を実現し始めましょう。例えば、これには、クラウドにまたがるショーバック（コスト通知）およびチャージバック（コスト配賦）によるコストガバナンスの実装、セキュリティおよびコンプライアンス監査、そしてオンプレミスとクラウド双方から共通のブローカーを介して行うデスクトップの提供が含まれます。これによって、優れたアーキテクチャーで構築された、ハイブリッドクラウドの基盤を築くことができます。

クラウドで迷うことのないように

異なるパブリッククラウドリソースで別途に連動させる一般的なアプローチではなく、Nutanixは一から設計したアーキテクチャーでパブリッククラウドへのネイティブな拡張性を提供します。これによって、再構築することなく、アプリケーションワークロードの移行とクラウドをまたぐキャパシティのバーストを容易に実現できます。



代表例

ハイブリッドクラウドでネット 小売業者が顧客エク スペリエンスを大幅に向上

smartbox



「当社は、Nutanixと長年にわたって仕事をしており、そのテクノロジーとイノベーションには絶大な信頼を寄せています。」

— Paul Cash氏、Smartbox ITオペレーションディレクター

Smartboxが人気のギフト体験プラットフォームの応答性を改善しようと考えた時、ITリーダーは複数のブランドとテクノロジープラットフォームをハイブリッドクラウド環境に統合するためにNutanixに助けを求めました。以前は、Smartboxのソフトウェアエンジニアはリソース使用率に関する高粒度の可視性を欠いていたため、忙しいホリデーシーズン中のロードバランシングは困難でした。新しいインフラストラクチャーのおかげで、同社はデータセンターとクラウドにおける活動を同時に監視し、多様なIT環境におけるより優れたコスト管理を実現できるようになりました。エンジニアは、過去の分析に基づき、近い将来のニーズを正確に予想して需要の急増を確実に予測できます。

「当社の事業にとって、可用性とアップタイムは不可欠です。また、問題の回避機能も極めて重要です。」SmartboxのITオペレーションディレクターを務めるPaul Cash氏が話します。「当社は、アップタイムと可用性を100%維持しています。その結果、業界で1番の顧客エクスペリエンスを提供できています。」

フェーズ4

ハイブリッドマルチクラウド 運用を統合する

ビジネストラנסフォーメーションというパズルにおいて、オンプレミスとクラウド環境間の相互運用性は重要なピースとなります。多くの組織は、こうした新しい環境の管理プロセスの再構築をIT部門に託します。その結果、単にインフラストラクチャーを保守するためだけに、専属のチームと特殊スキルを終始してしまいます。「これは一体、問題の解決になっているのだろうか。それとも、複雑性が増しているだけなのだろうか。」と自問するかもしれません。

Nutanixは、この問題を回避するために作られています。100%ソフトウェア定義のアーキテクチャーであるNutanixは、プライベートおよびパブリッククラウド間のネイティブ統合によってハイブリッドマルチクラウド管理を統合する、単一のプラットフォームを提供します。あらゆるロケーションにワークロード、アプリ、データ、そしてライセンスをシームレスに移行しましょう。単一の管理コンソールを利用して、環境とアプリケーションを問わずにサービスを容易に展開することで、急速なイノベーションに対するサポートを加速させます。

- オンデマンドの柔軟性によって即座にスケールアップまたはスケールダウン
- プラットフォームの刷新を伴わずに、クラウド間のシームレスなビジネスワークロード用モビリティを実現
- クラウドへの1-クリックDRによって可動性を常時維持
- 慣れ親しんだワークフローとツールの維持をクラウドネイティブ統合によって実現
- クラウドを利用した大規模なVDI展開およびI/O集約型アプリのサポート
- 未使用リソースを休眠させてコストを節約

クラウドの統合運用 はどうなるのか

Nutanixポートフォリオ: 1つのプラットフォームあらゆるアプリとあらゆるクラウドに対応。



Enterprise
アプリ



クラウドネイティブ
アプリ



アナリティクス/
機械学習



データベース



開発&
テスト



IoTエッジ



ROBO



EUC

NUTANIX™ クラウドプラットフォーム

データセンターサービス
ストレージ | ネットワーキング | BC/DR

DevOpsサービス
クラウドネイティブ | オートメーション | DBaaS

デスクトップサービス
VDI | DaaS | デジタルワークスペース

デジタルハイパーコンバージドインフラストラクチャーサービス
仮想化 | ストレージ | 管理および運用 | セキュリティ

プライベートクラウド



1-クリックのモビリティ
シームレスな運用



NUTANIX
クラウド



テレコ/XSP



ハイパースケーラー

パブリック
クラウド

代表例

保守のための時間を減らしてイノベーションを増やす

DELEN
PRIVATE BANK



動画を見る

Alexandre Delen氏、Delen Private Bankエグゼクティブディレクター

「ベンダーを切り替えても、同じインターフェースとプラットフォームのままです。このおかげで、業務が相当楽になりました。」

— Sammy Bogart氏、Delen Private Bankインフラストラクチャーリーダー

資産400億ドル、そして一連の企業買収を行ってきたDelen Private Bankは、その成長が余りにも早すぎたがためにレガシーデータセンターインフラストラクチャーが追いついていませんでした。Nutanixとパートナーを組んで以降、Delen Private Bankは統合型ハイブリッドクラウドアーキテクチャーによって、今まで以上の展開・構築の選択肢を提供しながら、IT予算の50%を新たなテクノロジーに再配分できています。

「当社データセンター内でアプリケーションを実行するか、1つのクラウドから別のクラウドへと移行させることも自由です。」とエグゼクティブディレクターを務めるDelen Alexandre氏が話します。「Nutanixは、これをコンテナとDocker戦略で実現しています。余りにもスムーズに動作するため、メトリクスを確認することはありません。Nutanixのおかげで、当社は急速な成長と進化を遂げることができています。」

ビジネストランスフォーメーション の成功を測る

企業にとって、成功とはどのようなものでしょうか？Nutanixをビジネストランスフォーメーションの基盤として利用した**16,000**以上の企業は、著しい成果を手に入れています。

62%

：5年間の運用コスト削減割合*

85%

：計画外ダウンタイムの削減割合*

53%

：コンピューティングリソースの展開に
要するスタッフの時間の減少割合*

58%

：より効率的なIT
インフラストラクチャー管理*

無限のリソースで 無限の安心感

ビジネストラנסフォーメーションの成功によって、データと情報からなる無限エコシステムを通じて、顧客と接することが可能になります。今後は、レガシーシステムの複雑性に縛られる必要はありません。イノベーターは無限の拡張性で自由に構築して、事業が顧客とより深い関係性を築けるようにサポートします。

クラウドジャーニーは、単なるテクノロジーの話ではありません。これは、次の3つの原則に基づき、事業を本質的に変える方法になります。

シンプル性

どれだけ素早くイノベーションを実現できるかは、アイデアを実行に移す作業がシンプルであるかどうかにかかっています。会社は、プロセスやテクノロジーが複雑になりすぎて移行を停滞させていないか、自らが搭乗ゲートの要素を果たして確認する必要があります。

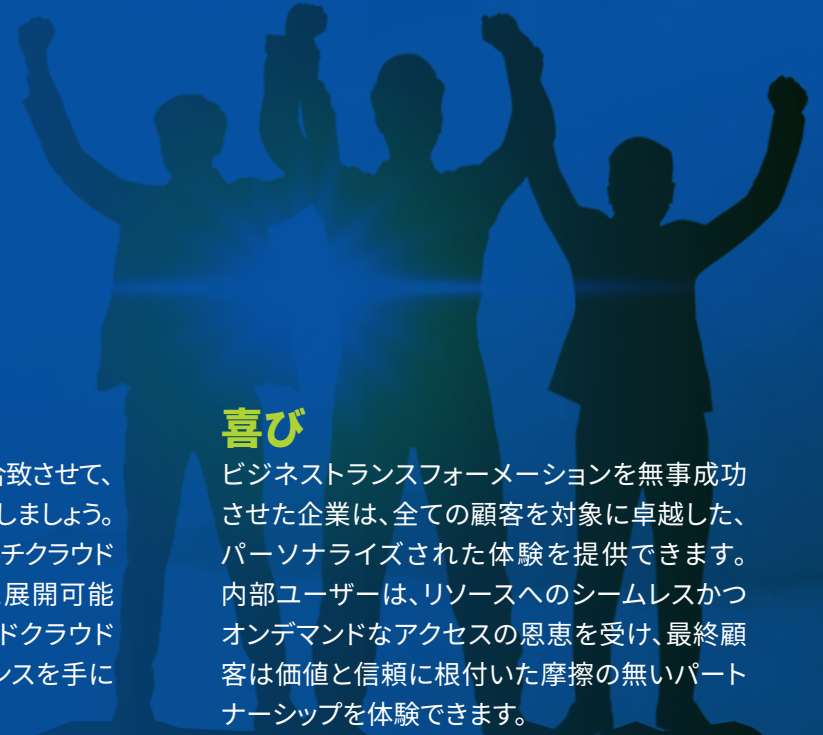
選択肢

アプリケーションを最善のリソースに合致させて、最適なパフォーマンスとコストを実現しましょう。既存の投資の上に増築しながら、マルチクラウドへのシームレスなリソースの拡張と展開可能なオプションを利用して、ハイブリッドクラウドによる真のコスト節約とパフォーマンスを手に入れましょう。

喜び

ビジネストラנסフォーメーションを無事成功させた企業は、全ての顧客を対象に卓越した、パーソナライズされた体験を提供できます。内部ユーザーは、リソースへのシームレスかつオンデマンドなアクセスの恩恵を受け、最終顧客は価値と信頼に根付いた摩擦の無いパートナーシップを体験できます。

Gartner Peer Insightsにて、信頼できるパートナーとして2年連続で独立機関により認知されました。



代表例

顧客の喜びにフォーカスしたハンズフリーIT



Wendy M. Pfeiffer氏、Nutanix CIO

急速なペースで成長を続けて多様なテクノロジーを実装しているNutanixは、保守業務をIT部署からオフロードすることでIT予算を減らしながら、運用拡張を行う必要がありました。リソースがオンプレミスとパブリッククラウドの双方を含む複数のロケーションに分散された中、当社は 特殊な設備の刷新を伴わずに、アプリケーションとワークロードを交換できる形で効果的に管理・移行するための包括的なソリューションを必要としていました。

クラウド管理専用に設計された当社の統合運用システムを標準化することで、柔軟なハイブリッドクラウドアーキテクチャーを構築できました。これによって、既存の投資の上に増築して、「あらゆることを自動化」してITのアウトプットを増強することができるようになりました。

「今では、多くの社員がチームを諮問機関のように見なしています。」と語るのは、NutanixでCIOを務めるWendy Pfeiffer氏。「こうした運用そして技術面の専門知識、またピープルスキルの組み合わせは、会社が生産性を保つために必要となるITのマジックなのです。」

35%

：現在自動化されたITタスクの割合

200%

：ビジネストランスフォーメーションによるROI

300%

：IT運用予算の削減割合

ご希望のやり方でクラウド までの道のりを決定

お客様の事業と顧客が、無限に結ばれたデータ駆動型の関係性によって深い関係を築く未来を想像してみてください。データは、新たな収益源となり、未来の動きを予測して、リアルタイムの意思決定に関する情報を提供し、事業の成長に合わせて拡張します。ビジネスおよびテクノロジーリーダーは力を合わせ、イノベーションの加速を推進します。ITチームは保守作業をオートパイロットにして、イノベーションを最優先事項として取り組みます。リソースは直ちに入手可能であり、アイデアはかつてないほどの速さで市場へ投入されます。ビジネストランスフォーメーションを成功させれば、こうした未来像を現実のものにすることができます。Nutanixにお任せください。

**Nutanixソリューションを
確認する**